**院内がん登録について**

　院内がん登録とは、入院・外来を問わず、各病院で把握された全ての「がん（＝悪性腫瘍）」について、診断・治療・予後に関する情報を集め、整理・保管し、集計・分析を行う仕組みのことです。各施設で集められたデータは、統一された様式で、国立がん研究センターに定期的に提出しています。

　当院では、がん診療連携拠点病院の指定要件に則って、2007年1月1日以降に把握された「がん（＝悪性腫瘍）」を登録対象としております。１つの腫瘍に対して１例の登録ですが、登録された腫瘍の再発や転移については、登録対象とはなっておりません。また、脳腫瘍・下垂体腫瘍・髄膜腫については、原則として、良性であっても登録対象としております。さらに、セカンドオピニオンについても、登録対象としております。

以下に、当院の院内がん登録の**2013年症例登録データ**を公開いたします。

**グラフ①　院内がん登録総件数の推移**

※院内がん登録件数は、多少のばらつきはありますが、最近は増加傾向にあります。

**グラフ②　年齢層・性別件数**

※６０歳代と７０歳代で６割を占めています。総数では男性が多いですが、5９歳以下に関しては、女性が多いようです。

**グラフ③　患者居住地割合**

※八幡西区や若松区、遠賀郡だけでなく、他の地域からも多数の患者さんが受診されています。

以下は、2013年症例のうち当院にて初回治療を行った**1559件**を分析しています。

**グラフ④－１　がんを発見するに至ったきっかけの件数・割合**

**グラフ④－２　当院を受診するに至った経緯の件数・割合**

※自覚症状があってがんが見つかり、かかりつけ医や近くの病院からの紹介で、当院を受診された方が多いようです。

**グラフ⑤　部位別件数**

※肺がんが最も多いですが、様々な種類のがん患者さんを診療しております。

**グラフ⑥-１　男性、部位別×年齢区分別件数**

**グラフ⑥-２　女性、部位別×年齢区分別件数**

※男女で、特徴が出ています。特に女性の乳がん、婦人科がんの若い世代（５９歳以下）の占める割合が多いです。

**グラフ⑦　主な部位の診断時のステージ割合（血液がん、脳腫瘍、原発不明癌は除く）**

※いずれのがん種においても、さまざまな進行の程度に合わせて、様々な治療法を適切に組み合わせて行っております。

次に、主な部位のステージに対する、当院で実施した**初回治療内容**の分析です。

**グラフ⑧－１　肺がん（259件）**

**グラフ⑧－２　結腸・直腸がん（146件）**

**グラフ⑧－３　胃がん（126件）**

**グラフ⑧－４　皮膚がん（106件）**

**グラフ⑧－５　前立腺がん（103件）**

**グラフ⑧－６　乳がん（84件）**